

1~3 特集 自分らしい働き方のカタチ

- 4 ● にいがた2km秋のイベント
 - 10/13 新潟シティマラソン 交通規制を実施
 - 5 ● ハクチョウの目撃情報を募集
 - 10月は骨髄バンク推進月間
 - 10月は乳がん月間
- 令和6年能登半島地震関連情報

他3ページは区役所日より
「情報ひろば」は別冊で発行しています



自分らしい 働き方の カタチ



今号では、働きたい人と企業のマッチングやデジタル技術を活用した働き方を推進する新潟市の取り組みを紹介します。

☎雇用・新潟暮らし推進課 (☎ 025-226-1642)

にいがた ニキロ

SDGs 新潟市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

8 働きがいも経済成長も

17 パートナリシップで目標を達成しよう

市の各種手続き、催し案内などは土・日曜、祝日も新潟市役所コールセンター
年中無休 8:00~21:00
こたえてコール 025-243-4894
FAX 025-244-4894 | Eメール 4894call@call.city.niigata.jp

新潟市の人口・世帯数(8月末住民基本台帳人口。かっこ内は前月との比較)
人口/763,200人(-611) 男 367,410人(-291) 女 395,790人(-320)
世帯数/351,242(-140)
編集・発行/新潟市広報課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 ☎025-226-2089

今年度からは、自分に合った時間で働きたい人と企業をつなぐウェブサービスや、在宅テレワーカーの育成や就労の支援を新たに開始しました。家事や育児、介護などにより固定で働きづらい方やさまざまな世代の方が、それぞれ自分に合った多様な働き方ができる環境を広げること、市内企業の働き手不足解消、より多くの人が活躍できる新潟市を目指しています。

新潟市では、市民の皆さんが「ワーク・ライフ・バランス」を実現できるよう、働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰や、経営者向けセミナーの開催など、さまざまな取り組みを進めています。

市長より

新潟市長
中原 八一

少子高齢化が進む中で、「働き手不足」が社会的な問題になっています。一方、働き方については、短時間労働や在宅での勤務など、自分のライフスタイルに合わせて働きたいというニーズが高まっています。